

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2203132	キャリア形成 特別講座 II Career Development Special II	家政学専攻 専任教員	専門	1	必修	2年集中後期
科目の概要						
<p>今後の目標を考え、表現することが、授業の目標です。先輩たちがプレゼンテーションを行う社会人基礎力 学内グランプリや、家政学専攻3年の生活スタジオ報告会、4年の卒業研究 中間報告会と発表会に出席します。これからの大学生活を、より有意義なものにするヒントが見つかるかと期待しています。</p> <p>今年度、頑張ったこと、良かったこと、残念だったことなどを、振り返ります。単位の取得状況も確認し、来年度、受講する授業や挑戦したいことを考えます。</p> <p>今年度の振り返りと今後の目標をレポートにまとめます。まとめる際は、建学の四大精神、pisa 型学力、社会人基礎力の発揮を強く意識します。先生との個人面談でも、振り返りと目標も話し、より明確な目標にブラッシュアップします。</p>						
学修内容			到達目標			
① 卒業研究や生活スタジオの発表会、社会人基礎力 学内グランプリなどを聴講します。			① 先輩の発表を、メモをとりながら聴講し、これからの参考にします。			
② 今年度、印象に残っていること、これから頑張りたいこと、やってみてみたいことを書き出します。			② 今年度を振り返り、これからの大学生活や将来のことを考えて、今後の目標を設定します。			
③ 現在の単位取得状況をチェックし、来年度履修したい科目を調べます。			③ 現状を把握します。卒業に向けて何をすべきか、来年度ほどの授業を履修するのかを、計画します。			
④ 今年度の振り返りと今後の目標を整理して、先生との個人面談を受けます。レポートにまとめます。			④ あなたの今年度の振り返りと今後の目標を、先生に話します。再度整理してレポートにまとめ、提出します。			
学生に発揮させる 社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	学修行動評価シートに示されている予習課題を行い、授業に出席する。				
	働きかけ力					
	実行力	予習課題で気になったことを、図書館や web などで調べ、その内容と出典先を学修行動評価シートに記述する。				
考え抜く力	課題発見力	それぞれの活動で「参考になる」「自分には足りない」など感じたことを、学修行動評価シートに記述する。				
	計画力					
	創造力	復習課題を実施する際に活用した知識・技能と発揮した社会人基礎力を、学修行動評価シートに記述する。				
チームで働く力	発信力	それぞれの活動の後、「分かった」「参考になった」と感じたことを、ワークシートに記述する。				
	傾聴力	ワークシートに聴講メモなどを書きながら、受講する。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	提出期日を守る。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト: 毎回配布する学修行動評価シートやワークシートなどが、皆さんと一緒に作り上げるテキストです。</p> <p>参考書: 適宜紹介する予定です。</p>						
他科目との関連、資格との関連						
キャリア形成科目をはじめ、生活スタジオ、卒業研究など、ほぼすべての学科目						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>この授業では、見て、聴いて、感じて、表現することが大切です。積極的に体験しましょう。</p> <p>授業後は、毎回、行ったことの意味と、あなたの「これから」を考えます。先生との個人面談では積極的に、今年度の振り返りと今後の目標を話します。レポート作成では、読み手に伝えることを強く意識します。</p> <p>話すため・書くためには、考えを整理することが大切です。この授業の意味も深まります。</p>			<p>発表・報告を聴くときは、聴講メモをとり、最後にまとめを書きます。レポートを作成する際は、メモ・まとめも参考にして、あなたの思いや考えがしっかり伝わるように工夫します。</p> <p>学則通り、6 週以上の欠席は「放棄」となり、単位修得ができません。途中退室は欠席です。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
提出物	40	①	✓	毎回、学修行動評価シートやワークシートなどを配布します。期日までに提出します。 評価の基準は以下の通りです。 C: できない箇所は、先生や友達に尋ね完成させて提出した。 B: レクチャーだけですべきことを理解し、完成させ、期日までに提出した。 A: 授業で獲得した情報を活用して、指示以上の工夫を行った。 S: 完成度を上げるため、web や図書館でキーワードなどを調べ、指示以上の工夫をした。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
個人面談	10	①		個人面談では、今年度の振り返りや今後の目標などを担当の先生に話します。あなたの現状を整理し、「これから」を考える機会にします。今年度の振り返りと今後の目標が先生に伝われば、評価されます。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
レポート	40	①	✓	今年度の振り返りと今後の目標を、レポートとしてまとめます。授業中に、まとめる内容、評価の基準を示します。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	学修態度評価シートやワークシートなどにより、以下の内容を評価し、90%以上行われていれば S、80%以上で A、70%以上で B、60%以上で C とします。 [主体性] 学修行動評価シートに示されている予習課題を行い、授業に出席する。[実行力] 予習課題で気になったことを、図書館や web など調べ、その内容と出典先を学修行動評価シートに記述する。[課題発見力] それぞれの活動で「参考になる」「自分には足りない」など感じたことを、学修行動評価シートに記述する。[創造力] 復習課題を実施する際に活用した知識・技能と発揮した社会人基礎力を、学修行動評価シートに記述する。[発信力] それぞれの活動の後、「分かった」「参考になった」と感じたことを、ワークシートに記述する。[傾聴力] ワークシートに聴講メモなどを書きながら、受講する。[規律性] 提出期日を守る。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
筆記試験	0			筆記試験は、行わない。
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
すべての活動に参加して、指示された課題をすべて行えば、A と判定されます。 指示以上のことを自身で考え、レポートや提出物のクオリティが高く、先生方に今年度の振り返りと今後の目標が伝わり、高評価が得られれば、S と判定されます。	レポートや提出物で、7 割以上指示通りのことが行われていれば、B と判定されます。 6 割以上、指示された内容が行われていれば、C と判定されます。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 / 2週 / 3週 /	卒業研究 中間報告の聴講 4年生が行う卒業研究の中間報告を聴講します。	聴講 ワークシート	気になること、分からないことを、メモしながら聴講した。あるいは1番面白いと感じた報告を選び、その内容を記述した。	(予習) 要旨を読み、特に気になる報告を選びます。その報告への質問を準備します。 (復習) 各報告の後に記入した「分かったこと」「参考になったこと」を整理します。やってみたい、あるいは1番面白いと感じた報告を選び、その内容と選んだ理由を記述します。	45 30	傾聴力 規律性 創造力
4週 / 5週 /	生活スタジオ 報告会の聴講 3年生が行う生活スタジオの報告を聴講します。	聴講 ワークシート	気になること、分からないことを、メモしながら聴講した。あるいは1番面白いと感じた報告を選び、その内容を記述した。	(予習) 要旨を読み、特に気になる報告を選びます。その報告への質問を準備します。 (復習) 各報告の後に記入した「分かったこと」「参考になったこと」を整理します。やってみたい、あるいは1番面白いと感じた報告を選び、その内容と選んだ理由を記述します。	30 30	傾聴力 規律性 創造力
6週 / 7週 /	社会人基礎力学内グランプリの聴講 全学的に行われている社会人基礎力の育成をテーマとした活動の発表会を聴講します。	聴講 ワークシート	気になること、分からないことを、メモしながら聴講した。あるいは1番面白いと感じた発表を選び、その内容を記述した。	(予習) 要旨を読み、特に気になる発表を選びます。その発表への質問を準備します。 (復習) 各発表の後に記入した「分かったこと」「参考になったこと」を整理します。やってみたい、あるいは1番面白いと感じた発表を選び、その内容と選んだ理由を記述します。	30 30	傾聴力 規律性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

